

令和2年度 第1回 学校運営協議会議事録

校名	府立むらの高等支援学校
校長名	吉武 進

開催日時	令和2年7月20日（月）15:00～17:00
開催場所	府立むらの高等支援学校 共用棟2階 会議室
出席者（委員）	（会長）荒木 寛巳 （副会長）大森 千枝 （委員）石神 彰人 上国料 洋子 三瀬 吉彦 弘野 優子 ※順不同
出席者（学校）	（校長）吉武 進 【事務局】（教頭）向山 和子 （事務長）清水 幸雄 宮渕 尚哉 吉田 聖名子 速水 彬裕 福島 武 重松 亮 大塚 高弘 活田 侑 岩里 哲朗 石森 由紀子 藤川 泰生
傍聴者	希望者1名（欠席）
協議資料	①本日のレジメ（次第）、②学校運営協議会委員名簿、③学校運営協議会参加者名簿 ④学校運営協議会実施要項、⑤令和2年度学校運営協議会運営計画、⑥－1平成31 年度学校経営計画、⑥－2令和2年度学校経営計画、⑦⑧令和2年度授業時間割・教育課程・校時表、⑨進路指導の取組・進路状況、⑩－1令和2年度使用教科書採択一 覧表、⑩－2令和3年度選定状況、⑪－1むらの版新型コロナウイルス感染拡大防止 対策、⑪－2オンライン授業等の整備状況、⑫学校運営協議会傍聴規則 【添付資料】令和2年度学校要覧・令和2年度学校教育計画
備考	後日、議事録を学校ホームページで公開 ※事前に議事録の内容を運営協議委員の皆様に確認いただき、了承を得る。

議題等（次第順）
1) 校長挨拶 2) 委員紹介（委嘱状の受け渡し、会長及び副会長の選出） 3) 事務局紹介 4) 報告 ①意見書の提出について ②平成31年度学校経営計画評価及び令和2年度学校経営計画について ③令和2年度授業時間割及び教育課程について ④進路指導の取組及び第3期卒業生の進路状況について ⑤令和2年度採択教科書紹介及び令和3年度採択教科書選定状況について ⑤新型コロナウイルス感染拡大防止対策について （むらの版新型コロナウイルス感染拡大防止対策、オンライン授業等の整備状況） 5) 協議 6) 校長挨拶 7) 諸連絡（事務局より）

協議内容・承認事項等（意見の概要）

【承認事項等】

1. 会長職を荒木寛巳様、副会長職を大森千枝様にご承諾いただき、全委員の承認を得る。
2. 平成 31 年度学校経営計画評価の報告及び令和 2 年度学校経営計画について計画内容の確認をする。
3. 令和 2 年度教科書採択の確認及び令和 3 年度教科書選定状況を報告し、意見をいただく。

【意見の概要】

- ・感染予防のため校外での学習や実習がストップしていることが子どもたちにとって大きな不利益にならないようにしてあげたい。この状況下で支援の必要な生徒への関わり方を有効に協議したい。
- ・天の川カフェが外部の方の利用を控える中、計画にある「3100 人以上の利用」は難しいのでは？
→ 1 ～ 3 月に計画した内容である。結果的に目標達成が困難なことは明白だが、年度途中に内容修正をするものではないと捉えている。
- ・コロナ感染対策、オンライン授業など、すごく徹底、進化されており参考になりました。
- ・可能であれば、オンライン授業について実際の画面上で、更に詳しく知りたい。
→ 試行段階の Googleform、classroom をスクリーンに映しながら運用、操作方法などを説明する。
- ・清掃の教科書にエルチャレンジのテキストを採択されていますが、ビルメンテナンス業務は保健所の管轄になっており、公衆衛生の観点が求められます。感染予防が気にかかるこの状況下だからこそ、清掃の技術指導だけではなく、衛生の観点の指導も、これまで以上に徹底していただきたい。
- ・最近、また感染が拡大傾向にある。なかなか先が見えない状況での進路指導、特に会社見学、実習などは生徒や保護者にとって不安が大きい。また受け入れ先企業の難しさもあると思われるが、どのように進めているか？
→ 3 年現場実習調整は現時点で 31 名中、約 20 名程度。1, 2 年職場実習調整においても、やはり例年より断られるケースが多い。企業へは本校に感染者、濃厚接触者の事象が発生した場合、臨時休業となるので、早急に連絡調整をとりながら、その時点で実習を中止させてもらおうと事前に確認している。逆に企業側に事象が発生した場合も同様である。今後も状況を見ながら進めていきたい。
- ・「卒業 1 年後の定着率 90% 以上」は、これまでも取り組んでいて明文化されただけのように捉えますが、その中で「アフター専任者」と言うのは、例えば進路担当だけでなく担任の先生も訪問する、またはエリア毎に担当者を振り分けるなど、何か新しい体制づくりでしょうか？
→ 今年度は進路指導部内の担当者にアフター対応のための授業時間軽減を措置した。
- ・手洗いが推奨されているが、端末自体が感染源になりかねない側面もある。各生徒が個人のタブレット端末を用いながら学習や実習に取り組む上で管理方法には何らかの配慮（使用手順の指導など）が必要ではないか。また、卒業後も本人が使用できると報告があったが、就職先の休憩時間での使用の仕方や管理の仕方について、今後、どのように指導されようとしているのかが気になることです。
- ・事務職の会社では自宅での仕事（在宅勤務）に切り替えていくケースが多い。通勤がなくなることで体調管理が難しくなるケース、自宅環境が整っておらず落ち着いて仕事ができないケースも少なくない。学校として、今後どのように在宅勤務に適した環境を整えていくのかを各家庭や関係機関と連携、相談していくことも必要です。実際に在宅勤務の卒業生はいますか？→ 一定数います。
- ・今回のような在宅勤務への切り替えケースでは入社前の実習では要求されていなかったスキルや力が要求される形にもなりますので、本人の不利にならないように調整、対応していくことも課題になってきますので、よろしくお願いします。
- ・今回のコロナの影響（臨時休校、オンライン授業など）で授業の遅れは生じていますか？
→ 年間計画は組み換えざるを得ないが、夏休み、冬休みなどに大幅に授業を補填している。学習の詰め込みにならないように時間数確保と内容の縮減に努めている。
- ・PC、スマホの苦手な生徒への対応はどのようになっているか？学習に格差が出ていないか。
→ 支援学校として個別の対応、指導は基本なので、情報の授業などで事前に学習を進めている。
- ・臨時休業中は家で落ち着かない子どもが多いと保護者間でも話題に上がっていた。先生に話を聞いてもらうことでストレスや不安を解消している子どもは多い。いつも以上に子どもたちが安心して過ごせる配慮をお願いしたい。また、保護者向けの研修や進路などの情報提供もお願いします。
- ・先が見通せない状況がまだまだ続きますが、学校の先生方はもちろんのこと、学校運営協議会委員としても子どもたちや保護者が安心できる情報発信を心がけていきましょう。

次回の会議日程（予定）

日時	令和 2 年 10 月 26 日（月） 15:00～17:00
会場	府立むらの高等支援学校 共用棟 2 階 会議室